



第6次江南市総合計画
平成30年度▶平成39年度

愛と知との 江南市計画

概要版



【市章】

「コウナン」の文字を図案化し、江南市政の融和と産業都市として一大飛躍、発展を表象したもので、昭和 30 年 3 月 1 日に制定されました。



【市の木】くろがねもち

枝は黒みを帯び、葉は互生した楕円形の常緑高木です。

自然の美を生かした緑化推進を願って昭和 48 年 12 月 7 日に制定されました。



【市の花】ふじ

古くから観賞用植物とされ、万葉集にも詠まれています。

市民に幅広く親しまれるとともに美化運動の推進を願って、昭和 48 年 12 月 7 日に制定されました。



【江南市民憲章】（昭和 49 年 6 月 1 日制定）

わたしたちの江南市は、木曽の清流にはぐくまれた広やかな濃尾平野の北部にあり、伝統にかがやく産業と文化のまちです。

わたしたちは、この江南市を愛し、市民であることに誇りと責任をもっています。

このまちを、さらに明るく住みよい豊かなまちへの願いをこめてこの憲章を定めます。

わたしたち、江南市民は

- 1 自然を愛し、美しいまちにしましょう
- 1 心のかよう、温かいまちにしましょう
- 1 健康につとめ、明るい豊かなまちにしましょう
- 1 きまりを守り、住みよいまちにしましょう
- 1 教養を深め、文化の高いまちにしましょう

【愛と知との江南市計画】

「愛と知との江南市計画」とは、第 6 次江南市総合計画の愛称であり、応募作品の中から選考委員会によって選考されました。

この愛称は、江南市を愛し、総合計画を意志堅固に進め、愛知県の江南市ということをアピールするとともに、市民と行政が連携して知恵を出し合い、親しみやすく暮らしやすい市をめざしてほしいとの願いが込められています。



江南市マスコットキャラクター
ふじか
「藤花ちゃん」

「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市」 の実現に向けて



本市は、平成20年に江南市戦略計画（第5次江南市総合計画）を策定し、「地域経営」と「行政経営」の2つの視点を取り入れ、市民協働による総合的かつ計画的なまちづくりを推進してまいりました。

その間、人口減少・少子高齢化の進展、地震・風水害等の災害対応へのニーズの高まり、ICT技術の進展、市民参加・官民連携の広がりなど、社会経済情勢も大きく変化してきました。特に、人口減少社会への対応は、国を挙げた取り組みとして、「地方創生」という形で、地域の魅力向上や人口減少抑制策が全国で展開されております。本市においても、将来的な人口減少が見込まれる中、平成27年度に今後の人口減少抑制策をまとめた、江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口減少の抑制に向けて対応を進めております。

こうした時代背景を受け、「第6次江南市総合計画」は、初めて人口減少社会を前提とした総合計画として策定いたしました。また、昨今のマニフェスト型選挙の浸透を鑑み、総合計画の中に、私が強く推進する取り組みを集約した「市長の戦略政策」を掲載しております。

この計画は、これまで本市が培ってきた市民協働の仕組みを基礎として、市長としてのリーダーシップをさらに発揮するとともに、より効率的・効果的な行政経営を実現し、将来像に掲げております「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市」の実現に向けて、本市の魅力や市民の皆様の満足度を高めるための指針だと考えております。

計画の推進につきましては、これまでと同様に市民の皆様との協働により進めてまいりたいと考えておりますので、市民参加の機会には、積極的なご参画とご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、計画の策定におきまして、多くの貴重なご意見やご提案をいただきました皆様に対し厚くお礼申し上げます。

平成30年3月

江南市長 澤田 和延

策定経緯

第6次江南市総合計画（以下、「第6次総合計画」という。）の策定に当たっては、市民本位の計画として、行政運営自体が恣意的で計画性のないものにならないように、多様な手法により市民参加を図りました。

江南市総合計画策定会議・策定部会を中心に、各部課において多くの検討を重ねてきました。

また市民会議では、公募市民、各種団体代表、市職員が一つのテーブルを囲み、活発な議論を行い、合意形成を図ってきました。

そのほか、市民意向調査やパブリックコメントの実施、住民説明会の開催を行い、市民の皆さまからのご意見やご提案を計画に反映させました。

さらに、市議会及び江南市総合計画審議会における慎重な審議を経て、第6次総合計画を策定しました。

平成28年	2月	策定方針の決定
	4月	市民意向調査の実施
	8月	市民会議のキックオフ
	11月	総合計画審議会に諮問
平成29年	7月	住民説明会 パブリックコメントの実施
	10月	総合計画審議会より答申
	12月	市議会で基本構想の議決
平成30年	3月	第6次総合計画の策定

計画の特徴

◇ 明確性・実行性・共有性の高い計画

「分野横断による施策の効率的、総合的な推進」を目的とし、市民に対してわかりやすく身近な計画とするために、①明確性、②実行性、③共有性を高めた計画となるよう、以下の特徴をもたせた計画とします。

人口減少社会を前提とした総合計画

- 行政サービスの機能性を高めるまちづくり（効率化、集約化など）
- 市民との役割分担による地域社会づくり（協働、連携、事業支援など）

① 明確性 ・ 市長の戦略政策の明記 ・ 施策の優先度の明記

② 実行性 ・ 数値目標による計画の進行管理

③ 共有性 ・ 分野横断による政策対応 ・ 市民協働（参加）型事業の明記

◇ 市民参加により策定される計画

計画策定段階における市民参加を通じて、様々な市民の意見を反映し、市民が自らの役割を認識し、行政と共有し合える計画とします。

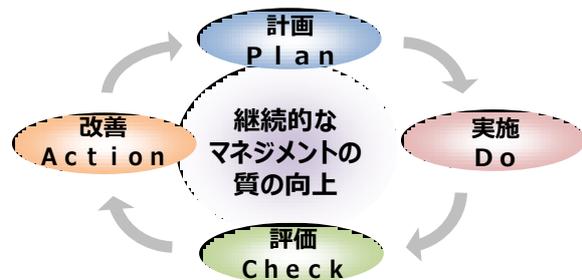
「第6次総合計画」策定の際の市民参加手法

- ① 審議会の設置（有識者などによる諮問・答申）
- ② 市民会議の設置（公募市民と市職員による協働）
- ③ 意向把握の実施（一般市民、若い世代など）
- ④ 住民説明会の開催
- ⑤ パブリックコメントの実施

計画の運用

「第6次総合計画」の進行管理は、PDCAサイクルに沿って、定期的な「成果測定（評価）」と継続的な「改善」を通じて実施します。

【PDCAサイクルのイメージ】



3つの行政評価システムによる進行管理

① まちづくり評価【市民と行政が推進するまちづくりの進行管理】

「基本計画」に掲げた各分野の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより、成果の発現状況を確認し、今後の改善方を検討します。

② 施策評価【行政が推進する施策の進行管理】

各施策の成果目標について、その達成度を明らかにすることにより、取り組み状況を確認し、今後の改善方を検討します。

③ 事務事業評価【行政が実施する事務事業の進行管理】

政策（施策）の目標に対して関連性が強く、実施効果の高い重要な事業について、その取り組み状況を明らかにすることにより、今後の改善方を検討します。

基本 構想

江南市の将来像

江南市ではすべての人がゆとりと生きがいをもって暮らせる、生活の場としての魅力あるまちづくりをめざして、平成39年度までにめざす都市のすがたを次のように定めます。

地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市 ～生活・産業・文化の魅力があふれ、選ばれ続けるまち～

基本目標1：地域の魅力を活かした機能的なまちづくり

江南市の魅力を活かした生活しやすいまちとして、「生活環境が快適なまち」の実現をめざします。

基本目標2：子どもが生き生き育つ環境づくり

子育て・教育環境づくりを推進し、地域が支える「子どもが生き生き育つまち」の実現をめざします。

基本目標3：生活を支える雇用・就労環境づくり

誰もが生涯を通じて社会と関わりを持てる「生涯活躍できるまち」の実現をめざします。

基本目標4：安心・安全の地域づくり

一人ひとりの支え合いの意識の醸成を図り、安心して地域で暮らし続けられることを通じて、健全で持続的なコミュニティの維持による「安心・安全なまち」の実現をめざします。

基本目標5：常に改革を進める行政

市民と行政が協働して的確な施策実現を行うことによる「信頼される行政」の実現をめざします。

◆生活都市とは

住む、働く、学ぶ、楽しむなどの広い意味の生活機能を備えた都市のこと。「住宅都市」を核に、様々な生活機能が付加された「生活者」のための都市。「生活者」自身も、環境や福祉などの地域社会の抱える課題の解決をめざして、自主的・自立的に行動することにより、「生活都市」が実現される。



市民協働のあり方

次のような市民協働をめざし、基本方針を定め、市民協働を進めます。

めざす市民協働のすがた

- ・市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、行政などが、強固な信頼関係の下、市の将来像や目標を共有するとともに、それぞれの得意な分野で力を発揮し、連携・分担・協働により課題解決を図りながら、その実現に向けて協力し合っている。

市民協働の基本方針

- 1 人材育成
- 2 情報共有
- 3 市民参加の推進
- 4 協働の環境づくり

協働の基本的な考え方

協働の定義：江南市における市民協働における「協働」とは、「市民、事業者、行政などが、それぞれの立場及び特性を相互に尊重した上で、それぞれの役割及び責務を自覚し、対等な立場で目的の遂行に向かって協力すること」をいいます。様々な主体が、それぞれの得意分野で力を発揮するとともに、相互に協力して活動することにより、そこに相乗効果が生まれ、地域に新たな価値がもたらされることが期待されます。

協働の目的と意義：これからの時代に適応した、持続可能な文化的で成熟した新しい地域社会を築いていくことが求められています。「協働」は、市民、事業者、行政などが互いに助け合い、力を発揮し合うことにより、地域全体で新しい「公共」を創造し、市民を幸せにすることができる可能性をもっています。

協働の担い手：市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、行政などの地域構成員が、協働の担い手となります。

協働の原則：「市民主体」「多様な主体間での協働」「平等」「情報共有」を原則とします。

行政経営のあり方

次のような行政をめざし、基本方針を定め、行政経営を進めます。

めざす行政経営のすがた

- ・市長の戦略政策により、政策の将来ビジョンが示され、各組織がその実現に向けて組織を横断して政策に取り組んでいる。また、行政の各組織が、展望や目標を共有し、使命を明確にして、行政マネジメントを継続的に実施し、効率的で効果的な業務執行をしている。
- ・それにより、限られた経営資源の中で、持続可能な財政基盤を確保し、最大の成果を実現することで、市民からの信頼を得ている。
- ・全職員が、常に創意工夫をしながら業務を遂行するとともに、経営能力を向上させる努力を惜まず、最大限の力を発揮している。

行政経営の基本方針

- 1 市長の戦略政策の実現
- 2 トップマネジメントの政策立案機能の強化
- 3 自立型の経営システムの確立
- 4 経営のできる人材の育成
- 5 職員意識と組織風土の改革

基本 計画

目標フレーム

計画策定の基本となる指標として、計画期間の平成 30 年度から平成 39 年度における人口・財政・土地利用のフレームを次のように設定します。

◇ 人口

人口見通しでは、今後、継続的な人口減少が見込まれますが、「総合戦略」における人口減少抑制策の実施を、「第 6 次総合計画」においても持続的に取り組むことにより、基本構想に掲げる市の将来像「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市 ～生活・産業・文化の魅力があふれ、選ばれ続けるまち～」をめざすこととし、将来目標人口を以下のとおり設定します。

年 度	平成 27 年度 (国勢調査)	平成 35 年度 (前 期)	平成 39 年度 (後 期)
総人口	98,359 人	96,800 人	95,100 人
年少人口 (0~14 歳)	13,389 人	12,800 人	12,500 人
生産年齢人口 (15~64 歳)	58,801 人	57,100 人	55,800 人
老年人口 (65 歳以上)	26,169 人	26,900 人	26,800 人

目標
人口

◇ 財政

<歳入>

(単位：百万円)

年 度	平成 29 年度	平成 35 年度 (前 期)	平成 39 年度 (後 期)	
歳 入 総 額	30,995	28,702	28,335	
自主財源	市 税	12,713	12,525	12,357
	そ の 他	3,423	2,871	2,859
依存財源	市 債	3,594	2,115	1,933
	地方交付税	2,770	2,699	2,533
	そ の 他	8,495	8,492	8,653

※平成 29 年度は予算額、平成 35・39 年度は計画額

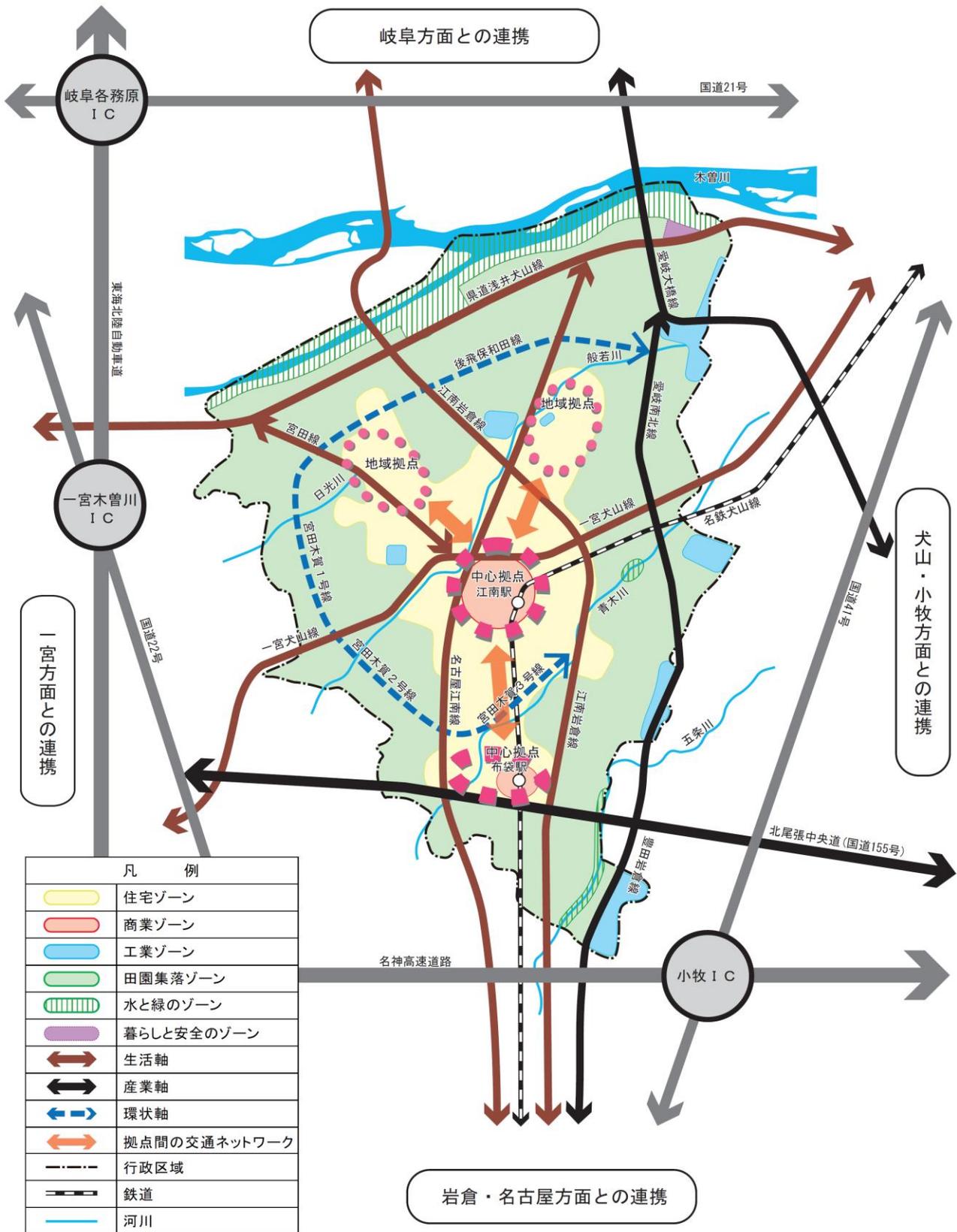
<歳出>

(単位：百万円)

年 度	平成 29 年度	平成 35 年度 (前 期)	平成 39 年度 (後 期)	
歳 出 総 額	30,995	28,702	28,335	
義 務 的 経 費	人 件 費	4,806	4,784	4,679
	扶 助 費	6,166	6,700	6,923
	公 債 費	2,410	2,608	2,381
投 資 的 経 費	5,589	2,114	1,817	
そ の 他 経 費	12,024	12,496	12,535	

※平成 29 年度は予算額、平成 35・39 年度は計画額

◇ 土地利用



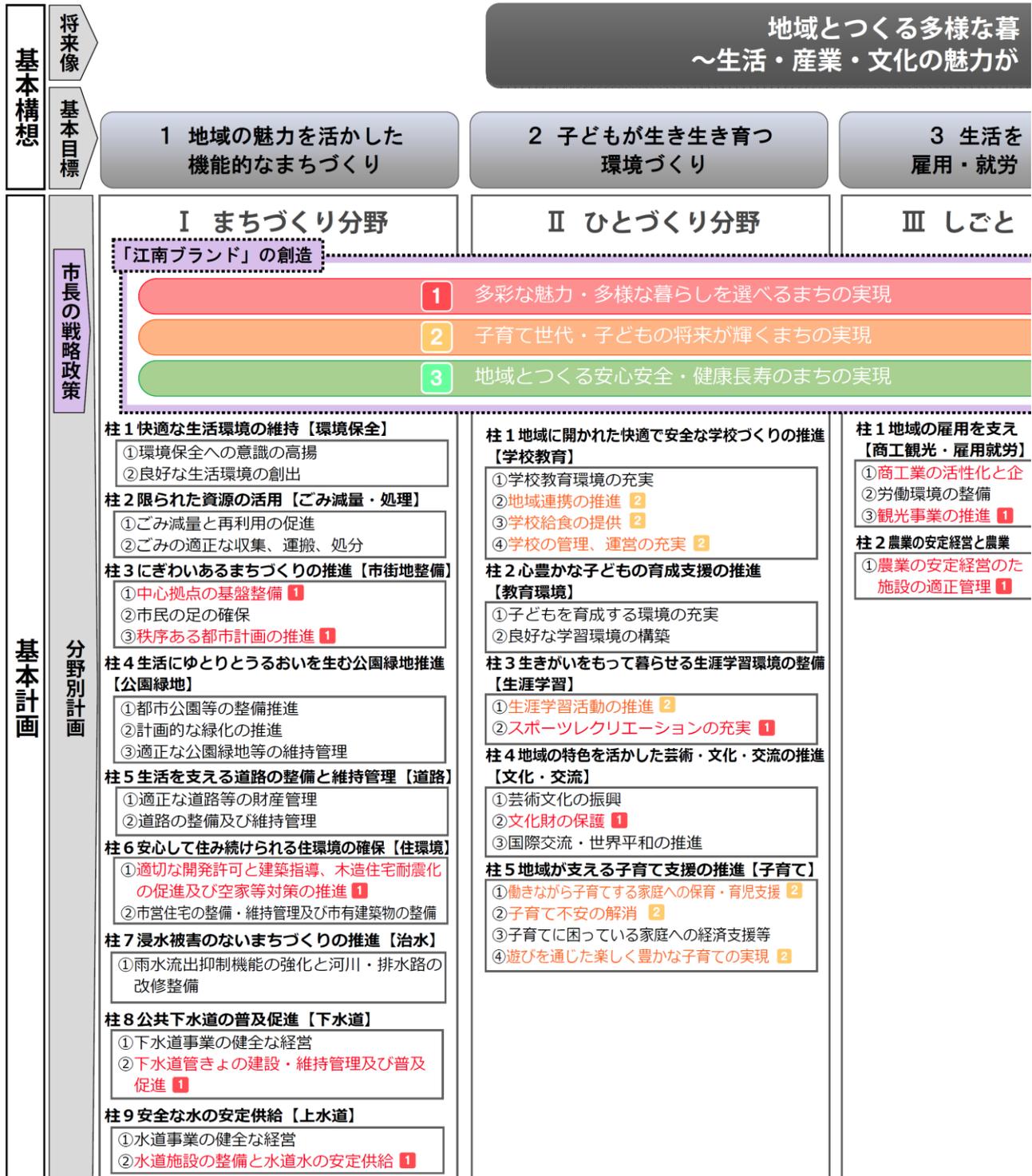
【土地利用構想図】

基本計画の体系

基本計画は、基本構想に位置づけられた江南市の将来像の実現を図るため、5つの基本目標に対応した5分野により構成し、分野ごとにめざす成果を柱立てし、展望や目標、関連する取り組みを「分野別計画」として示します。

また、人口減少社会を前提とした総合計画として、江南市の将来像である、「地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市～生活・産業・文化の魅力があふれ、選ばれ続けるまち～」を実現するため、市長が強く推進する政策を「市長の戦略政策」として示します。

◇ 基本計画の成果体系



【市長の戦略政策の特徴】

- ・市長の政策ビジョンを示す
- ・分野別計画の中から市長が強く推進する施策（事業）を示す
- ・分野を横断して施策を効率的・効果的に実施するための仕組み
- ・市長任期の更新とともに見直される

【分野別計画の特徴】

- ・市民と行政の協働により策定・進行管理をする
- ・基本構想の5つの基本目標に対応した5つの分野から構成
- ・成果指標を設定した成果志向型の計画

**らしを選べる生活都市
あふれ、選ばれ続けるまち～**

支える
環境づくり

4 安心・安全の
地域づくり

5 常に改革を進める
行政

づくり分野

IV ちいきづくり分野

V 行政分野

「江南ブランド」の発信

4 透明性・柔軟性の
高い行政の実現

る産業の育成支援

業誘致の推進 ①

施設管理【農業振興】
めの支援と農業用

柱1 地域に住み続けられる支援の推進【高齢者福祉】

- ①介護保険サービスの提供、介護保険事業の適正運営 ③
- ②在宅高齢者施策の充実 ③
- ③高齢者の生きがいづくりの促進

柱2 障害者が生き生きと暮らせる支援の推進【障害者福祉】

- ①地域福祉の推進 ③
- ②障害者の日常生活及び社会生活への支援
- ③障害児への自立支援

柱3 地域で支え合う生活支援のための体制の確保【生活支援・福祉活動】

- ①被災者及び生活困窮者などへの自立支援
- ②生活保護世帯の生徒への学習支援
- ③社会福祉関係団体などへの育成支援
- ④民生委員活動などによる生活支援

柱4 誰もが活躍できる健康な生活の確保【健康づくり】

- ①健康の増進・保持 ③
- ②感染症予防
- ③母子保健
- ④医療体制の整備 ③

柱5 保険年金制度の健全な運営【保険年金】

- ①医療保険の健全運営
- ②国民年金制度の理解促進

柱6 安心・安全な地域づくりの推進

【防災・交通安全・地域防犯】

- ①災害対策活動の充実・強化、有事対策の確立 ③
- ②交通安全及び防犯施策の推進

柱7 市民の安心を守る消防・救急体制の充実【消防・救急】

- ①消防体制の充実 ③
- ②市民・事業者の防火意識・防火体制の向上
- ③火災・救急救助体制の強化

柱1 地域協働の推進【市民協働】

- ①地域の魅力の発掘・発信 ④
- ②地域協働の促進 ④

柱2 総合的な政策の推進と職員の人材育成【政策・人事】

- ①中長期的な政策立案の推進
- ②職員の人材育成と適正な人事管理

柱3 市民相談・窓口サービスの充実【市民生活】

- ①窓口サービスの向上
- ②市民生活相談の充実・知識の向上

柱4 男女共同参画社会の形成【男女共同参画】

- ①男女共同参画社会の形成

柱5 計画的な行政経営の推進【行政経営】

- ①効率的・計画的な行政経営の推進
- ②計画的で健全な財政運営の推進
- ③公共施設の最適な利用及び配置 ④

柱6 公平かつ適正な課税・収納【課税・収納】

- ①公平かつ適正な課税
- ②市税等収納管理の充実

柱7 適正かつ効率的な事務による開かれた行政【行政事務管理】

- ①適正な事務管理
- ②資産の適正な管理運用
- ③行政委員会の適正な運営

柱8 より開かれた適切な議会運営への支援【議会運営への支援】

市長の戦略政策

市長の戦略政策では、分野を越えた戦略的な政策として、4つの政策を軸として、『江南ブランド』の創造と発信を推進するために、各政策において戦略プロジェクトを位置づけ、重点的・優先的に事業実施に取り組みます。

『江南ブランド』の創造・発信

政策 1 多彩な魅力・多様な暮らしを選べるまちの実現

拠点のにぎわいと地域の住みよさを高め、より多くの魅力あるまちで、自らが望む生活スタイルを選ぶことのできるまちを実現します。

<戦略政策>

布袋駅東側の開発促進による地域経済の活性化/コンパクト・プラス・ネットワークの推進/江南駅前の利便性向上/廃屋・空家対策の推進/下水道整備区域の事業促進/水道基幹施設の強靱化/新体育館の活用/郷土の歴史の伝承/創業・起業への支援/企業誘致による地域経済の活性化と雇用の創出/市内企業の振興/地域ブランドの向上

政策 2 子育て世代・子どもの将来が輝くまちの実現

子育て世代が不安を抱えることなく、ワークライフバランスのとれた生活を送り、子どもたちは、学校だけでなく地域の中で社会性を身につけ、豊かな心をもった人間性を育み、子育てを通じて親子がともに楽しさや幸せを感じ、互いの将来が生き生きと輝くまちを実現します。

<戦略政策>

コミュニティ・スクール事業の推進/安心安全で質の高い学校給食の実施/ICT教育の推進/学校施設的环境整備/図書館機能の充実/駅近での子育て支援協働サービスの推進/病児保育サービスの充実/低年齢児受入れのための保育施設整備/子育て支援センターの充実/学童保育の利用対象学年の引上げ/子どもたちの居場所づくり

政策 3 地域とつくる安心安全・健康長寿のまちの実現

地域の人々が互いを支え合い安心安全に暮らし、多くの市民が年代に応じた健康への取り組みを実践し、市民の健康寿命が長いまちを実現します。

<戦略政策>

高齢者の生活支援サービスの充実/高齢者のサロン活動の支援・充実/介護予防の健康体操の推進/地域医療の連携強化/高齢者家庭への緊急通報装置の設置推進/地域福祉の推進/こなん健康マイレージ事業の推進/災害時の防災協定の締結推進/女性消防職員・団員の採用推進/防火水槽施設の耐震化

政策 4 透明性・柔軟性の高い行政の実現

知りたいと思う情報が明確に公開され、地域の構成員がそれぞれの得意分野で力を発揮できる、市民協働による柔軟性の高い地方行政を実現します。

<戦略政策>

シティプロモーションの推進/情報公開の推進/タウンミーティングの開催/地域コミュニティの強化、協働社会の構築/ふるさと寄附金の推進と市内企業の活性化/まち・ひと・しごと地方創生の推進/公共施設の見直しによる施設の再配置とコスト縮減

分野別計画

分野別計画の見方

I まち
柱 1

快適な生活環境の維持（環境保全）

分野別計画の分野・柱・名称・略称を掲載しています。

10年後のすがた

地域がどのようになっているか、市民がどのような生活を送っているか、10年後に実現をめざす、江南市のすがたを描いています。

行政の使命

「10年後のすがた」を実現するために、行政が果たすべき役割を明らかにしています。

【成果目標】

- 〔全体目標〕 市民と行政の協働により、「10年後のすがた」の実現された状態を市民満足度による数値目標で表したものの。数値は市民満足度調査により測定します。
- 〔個別目標〕 行政の取り組みにより、「10年後のすがた」の実現に向けた個別の目標を表したものの。

成果目標

全体目標 ○○○○○○

指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
～と感じる市民の割合	%	40.0 (H28)	50.0	60.0

個別目標① ○○○○○○

市民協働のモデル

【市民協働事業】

現在、市民参加により実施されている市民協働事業の事務事業名を掲載しています。

【市民協働の推進に向けて】

全体目標の実現のため、今後予定している市民参加を促進させる仕組みづくりや取り組みを掲載しています。

I まちづくり分野

I まち
柱 1

快適な生活環境の維持（環境保全）

10年後のすがた

自然と調和した快適な生活環境をめざし、公害苦情の少ないまちづくりが積極的に推進されている。また、地球温暖化防止のため、クリーンエネルギーの導入が進み、市民・事業者の省エネルギー、省資源への意識が向上し、日常生活や事業活動において環境に配慮した行動が根づいている。

その結果、環境負荷の少ない生活環境が確保され、市民が安心して快適に暮らしている。

行政の使命

環境負荷の少ない生活環境を確保するため、積極的な啓発、パトロールを実施し、迅速かつ適切な対応により問題解決に当たる。また、市民・NPO・事業者などと協働で、省エネルギー、省資源、自然環境保全、環境監視などの幅広い取り組みをよりいっそう進め、市民の意識の高揚を図る啓発、活動支援を積極的に行い、持続可能な社会の形成を推進する。

成果目標

全体目標 自然と調和した環境負荷の少ない生活環境が保全され、快適な生活を送っている

指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
日ごろから、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入などにより、環境に配慮して生活している市民の割合	%	37.8 (H28)	57.0	72.0
水質汚濁・騒音・悪臭など公害のない快適な環境で生活していると感じる市民の割合	%	57.6 (H28)	60.0	61.0

個別目標① 環境保全の意識が高まり、環境負荷の少ない生活・活動を営んでいる

個別目標② 良好な生活環境が創出され、公害・苦情の少ない快適な生活を送っている

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 環境基本計画推進事業
- ◇ 環境教育事業

【市民協働の推進に向けて】

- ◇ 低炭素社会に向けた活動の実践
- ◇ 生活排水対策の推進

I まち
柱 2

限られた資源の活用（ごみ減量・処理）

10年後のすがた

循環型社会形成の意識が定着し、ごみ減量運動が市民・事業者・行政の協働により、地域全体で取り組まれている。その結果、市民1人当たりのごみ排出量が減少し、快適で衛生的な生活環境の下で、市民が安心して暮らしている。

行政の使命

地域のごみ減量に関する意識の高揚と行動の促進を図るための啓発、組織や人の育成、活動支援を行い、適正な分別リサイクルを行う。また、ごみ処理施設、し尿処理施設及び火葬施設については、適正で効率的な運営を図り、新ごみ処理施設建設事業については、事業主体である尾張北部環境組合と連携し、安心・安全なごみ処理施設の実現に取り組む。

成果目標

全体目標 ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境が実現し、市民が安心して暮らしている				
指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合	%	60.7 (H28)	65.0	70.0

個別目標① リサイクルが進み、市民が出す可燃ごみ量が減っている
 個別目標② ごみ、し尿、火葬が適正に処理され、市民の生活環境が保全されている

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ ごみ減量対策・ごみ減量作戦
「57（コウナン）運動」事業

【市民協働の推進に向けて】

- ◇ ごみの発生（排出）抑制と再使用の取り組みの促進

I まち
柱 3

にぎわいあるまちづくりの推進（市街地整備）

10年後のすがた

適切な市街地整備を進めることにより、地域の都市生活、経済活動が活性化し、まちづくり活動を積極的に推進する団体が組織され、行政との協働による自立した多様なまちづくり活動が盛んに行われている。

その結果、秩序ある都市計画の推進がなされ、中心拠点や地域拠点に生活利便施設の集約化が進み、拠点間の交通ネットワークが確保されていることで、市民がにぎわいと安らぎのある生活を送っている。

行政の使命

人口減少・超高齢社会を見据えたコンパクトシティの実現に向けて、市民と共有できるビジョンや方策を都市計画マスタープランや立地適正化計画などに定め、秩序ある都市空間を創出するため、実現性の高い都市計画を推進する。

成果目標

全体目標 秩序ある都市計画により、美しくにぎわいのあるまちで生活している				
指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
秩序ある、美しいまちなみが形成されていると市民の割合	%	22.0 (H28)	33.0	40.0

個別目標① 魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民でにぎわっている
 個別目標② 市民の足が確保できている
 個別目標③ 適正な都市計画により、秩序があり美しく、快適なまちづくりが行われている

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 布袋地区まちづくり支援事業

【市民協働の推進に向けて】

- ◇ 地域による公共交通の検討支援

I まち
柱 4

生活にゆとりとuringおいを生む公園緑地推進（公園緑地）

10年後のすがた

公園緑地の整備が進み、それらが地域によって大切に管理され、また、地域を挙げて緑化に取り組んでいる。その結果、緑豊かな環境でゆとりとuringおいのある生活を送っている。

行政の使命

緑の基本計画などに基づき、計画的な公園整備を行うとともに、地域との協働による緑化の推進及び公園緑地の維持管理を行う。また、公園施設長寿命化計画に基づいた計画的な公園施設の改修・更新を行い、ライフサイクルコストの縮減を図る。

成果目標

全 体 目 標 公園等が整備され、ゆとりとuringおいのある生活を送っている				
指 標 名	単 位	基 準 値	目 標 値 : H35	目 標 値 : H39
公園等が整備され、ゆとりとuringおいのある生活を送っていると感じる市民の割合	%	33.4 (H28)	37.0	40.0
個 別 目 標 ① 都市公園等が整備され、気軽に利用できる公園が身近にあると感じている				
個 別 目 標 ② 都市緑化が推進され、ゆとりとuringおいのある生活を送っている				
個 別 目 標 ③ 地域で維持管理される公園緑地等が増え、適正に利用されている				

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 緑化推進事業
- ◇ 公園等維持管理事業

【市民協働の推進に向けて】

- ◇ 愛着の湧く公園づくりと地域による維持管理の推進

I まち
柱 5

生活を支える道路の整備と維持管理（道路）

10年後のすがた

交通量の多い生活道路を中心に、道路が整備され、適切に維持管理されている。その結果、道路を安全に通行することができ、市内で安心して活動し、生活できている。

行政の使命

安全で安心できる道路づくりの推進と計画的・効率的な道路整備を実施する。また、道路の良好な環境を保つため、適切な維持管理を実施する。

成果目標

全 体 目 標 道路が整備され、人や車が安全・快適に通行している				
指 標 名	単 位	基 準 値	目 標 値 : H35	目 標 値 : H39
道路が整備され、人や車が安全に通行していると感じる市民の割合	%	27.7 (H28)	42.0	50.0
個 別 目 標 ① 道路等の財産が適切に管理され、快適に利用している				
個 別 目 標 ② 道路が整備され、円滑な通行が確保されている				

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 道路維持管理事業

I まち
柱 6

安心して住み続けられる住環境の確保（住環境）

10年後のすがた

民間組織と行政が連携を図り、効果的な開発・建築指導がなされ、耐震及び空家等への取り組みが進められている。また、公共施設は、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン化され、有効に利用されている。その結果、住環境が整備され、市民は安心・安全な生活環境の下で暮らしている。

行政の使命

安心・安全な住環境を構築するため、専門的技術・知識や経験をもつ市民や民間組織と連携し、耐震改修、空家等対策、街なか居住、既存公共施設の有効利用とバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を推進する。

成果目標

全 体 目 標 住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている				
指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合	%	54.0 (H28)	57.0	60.0
個別目標 ① 住環境に関する民間組織と行政との協働による取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている				
個別目標 ② 住民による施設運営への参加により適切に整備・維持管理された市営住宅が供給され、安心・安全な生活環境が確保されている				

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 耐震改修促進計画事業
- ◇ 空家等対策推進事業
- ◇ 市営住宅維持運営事業

I まち
柱 7

浸水被害のないまちづくりの推進（治水）

10年後のすがた

青木川放水路事業、市内の河川の調節池整備や河川改修事業、公共施設への雨水流出抑制施設整備、市民が担う雨水貯留浸透施設の設置など、流域の総合治水対策が進み、浸水被害が軽減されている。その結果、浸水被害に対する不安が解消され、市民が安心・安全に暮らしている。

行政の使命

国・県・近隣自治体などとの関係機関と一体となって、河川の調節池整備や河川・排水路の改修を進める。降雨時の河川や排水路への負担を軽減するため、公共施設への雨水流出抑制施設設置を進める。また、市民に対し雨水貯留槽、浸透トレンチ、雨水浸透枳、透水性舗装などの浸透施設と浸水防止施設の普及を図る。

成果目標

全 体 目 標 河川等が整備され浸水被害に遭うことがなく、安心して暮らしている				
指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
河川等が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	48.7 (H28)	60.0	67.0
個別目標 ① 雨水流出抑制機能の強化と河川等の改修整備がされ、浸水被害が軽減している				

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 雨水流出抑制事業
- ◇ 総合治水対策事業

I まち
柱 8

公共下水道の普及促進（下水道）

10年後のすがた

供用開始されている区域の大部分が下水道に接続されている。
その結果、下水道整備区域内の側溝には、雨水のみが流れ、市民は衛生的で快適な暮らしをしている。

行政の使命

下水道使用料、受益者負担金等の賦課徴収事務を適正に行い、健全で持続可能な下水道経営及び計画的な下水道整備の推進を図る。下水道接続に対する市民の理解を深めてもらうため、啓発活動を行う。

成果目標

全 体 目 標 下水道が整備され、衛生的で快適な生活を送っている				
指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
下水道や浄化槽が整備され、衛生的で快適な生活を送っていると感じる市民の割合	%	46.7 (H28)	49.0	50.0
個別目標① 下水道使用料、受益者負担金の収納率及び接続人口の向上により、健全で安定した下水道事業が経営されている				
個別目標② 下水道が整備され、生活環境が向上している				

市民協働のモデル

【市民協働事業】
◇ 下水道啓発事業

I まち
柱 9

安全な水の安定供給（上水道）

10年後のすがた

健全な経営と水道施設の計画的かつ適正な更新、維持管理が行われている。
その結果、安全で良質な水道水が安定的に供給され、市民が安心・安全に暮らしている。

行政の使命

健全な経営と水道施設の整備を行い、安全で良質な水道水を安定供給する。

成果目標

全 体 目 標 健全な経営と水道施設の整備により、安全な水道水が安定的に供給され、市民は安心して利用している				
指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合	%	81.2 (H28)	85.0	88.0
個別目標① 水道事業が適正に運営され、健全な経営が行われている				
個別目標② 水道施設が整備され、安定した水道水が供給されている				

市民協働のモデル

【市民協働事業】
◇ 企業会計管理事業

Ⅱ ひとつづくり分野

Ⅱ ひとつ 柱 1

地域に開かれた快適で安全な学校づくりの推進(学校教育)

10年後のすがた

子どもの権利条約に基づき、均等な教育機会の提供や地域に密着した教育が行われている。学校教育活動に関する情報が適時、家庭や地域に提供され、常に改善に向けた取り組みが行われており、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、お互いが補完する中で、児童・生徒の健全な育成や安全の確保に積極的に関わる地域になっている。学校では子どもたち一人ひとりの適性に応じた社会性や基礎的な学力・体力が育成できる教育体制が整い、ICT機器などの教材整備が充実し、学校施設の整備も進んでいる。また、適切な衛生管理の下、食物アレルギーにも対応した学校給食が提供されている。

その結果、地域に良好な人間関係が広がり、児童・生徒は社会性を身につけ、豊かな心をもって、安心・安全な環境で、生き生きと育っている。

行政の使命

すべての子どもたちが自分の夢を育み、その実現に向けて、健全な育成が可能となるよう、快適で安全に学習できる学校環境を整備する。

成果目標

全 体 目 標 子ども一人ひとりに幅広い分野の教育が提供され、社会性、学力・体力が身についている				
指標名	単 位	基 準 値	目 標 値 : H35	目 標 値 : H39
子ども一人ひとりに幅広い分野の教育が提供され、社会性、学力・体力が身についているとを感じる市民の割合	%	20.0 (H28)	30.0	40.0

個別目標 ① 児童・生徒が心身ともに健康な状態で、適切な教育を受けている
個別目標 ② 学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性が育まれている
個別目標 ③ バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけ健康に育っている
個別目標 ④ 教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組んでいる

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ コミュニティ・スクール事業
- ◇ 地域学習活動支援事業

Ⅱ ひとつ 柱 2

心豊かな子どもの育成支援の推進(教育環境)

10年後のすがた

子どもたちを育てる体制が整い、地域の多くの人々が子どもの健全な育成に貢献している。また、教育委員会と市長の間で教育行政における課題が共有され、連携して教育政策の推進に取り組んでいる。

その結果、いじめや不登校が減少し、豊かな人間性と学力をもった子どもたちが健全に育っている。

行政の使命

人間性豊かな子どもたちを育成するための教育施策を実施する。

児童・生徒の不安や悩みが解消できるよう、心の教室相談員を学校へ配置して、子どもたちの心に寄り添った相談をするとともに、不登校の子どもたちの居場所となるよう適応指導教室「Y o u ・輝」を設置し、相談体制を整える。

成果目標

全 体 目 標 良好な教育環境が構築された社会の中で、子どもの健全な育成が図られている				
指標名	単 位	基 準 値	目 標 値 : H35	目 標 値 : H39
子どもを取り巻く社会の教育環境が良好で、子どもが健全に育成されているとを感じる市民の割合	%	66.3 (H29)	68.0	70.0

個別目標 ① 子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている
個別目標 ② 教育委員会と市長との連携により、子どもの教育環境が整っている

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ いじめ・不登校対策事業

Ⅱ ひと
柱 3

生きがいをもって暮らせる生涯学習環境の整備（生涯学習）

10年後のすがた

市民の生涯学習ニーズに対応し、大学などの教育・研究機関から学習機会や施設などが提供され、スポーツ団体、学習サークルによる市民の自発的なスポーツ活動、学習活動及びボランティア活動が体育館や図書館、公民館・学習等供用施設等で活発に行われている。

その結果、多くの市民が生涯にわたり身近な場所で学習やスポーツに取り組み、様々な世代と交流しながら、生きがいをもって暮らしている。

行政の使命

地域の人的・物的資源を最大限活用し、市民ニーズにあわせた多様性のある生涯学習機会を創出するとともに、そのための学習拠点や学習で得た知識、能力を発揮する場となる図書館や体育館、公民館をはじめとした社会教育施設の充実や、生涯学習活動の推進を図る。

また、個々の学習活動の交流を促進させることで、生涯学習活動の場を世代間交流の機会として活用し、相互の生きがいづくりにつなげる。

成果目標

全体目標 市民が生涯にわたって学習し、その能力を発揮する環境が整っている

指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
生涯学習活動に参加している市民の割合	%	18.1 (H29)	20.0	22.0

個別目標 ① 市民が、様々な学習活動を展開し、生きがいをもった生活を送っている

個別目標 ② 市民が身近にスポーツを楽しみ、なれ親しんでいる

市民協働のモデル

【市民協働事業】

◇ 成人教育事業

【市民協働の推進に向けて】

◇ スポーツ推進委員活動の推進

Ⅱ ひと
柱 4

地域の特徴を活かした芸術・文化・交流の推進（文化・交流）

10年後のすがた

各種行事への参加や優れた芸術文化を鑑賞する機会が増え、積極的に芸術文化に親しんでいる。郷土の歴史や文化財の保存などに関心をもった市民・サークルが、主体的に研究活動を行っている。また、「市内在住外国人も同じ江南市民」という多文化共生の意識が浸透し、外国人も社会ルールを守って市民生活を送っている。

その結果、心豊かな文化社会が創造されるとともに、文化財や伝統文化が大切に継承され、郷土を愛する心が育まれている。また、安心して暮らせる「多文化共生のまち」が進展し、国際的な理解度の深い市民が多くなっている。

行政の使命

文化活動が活発に行われるよう、多様な芸術文化に関する取り組みを進めるとともに、文化団体を支援・育成する。

郷土への誇りと愛着を高めるため、郷土の歴史や文化財に関するセミナー、講演会を開催するとともに市内に残されている歴史資料や歴史民俗資料館の資料を公開した企画展を開催する。

江南市国際交流協会などとの連携をさらに強め、在住外国人をサポートする取り組みや多文化共生の取り組みに対する支援を行う。また、世界平和の重要性をさらに市民に浸透させるための取り組みを進める。

成果目標

全体目標 市民の芸術文化活動や在住外国人との交流が活発に行われている

指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
芸術文化活動や地域に住む外国人との交流が、市民レベルで活発に行われていると感じる市民の割合	%	6.4 (H28)	8.0	9.0

個別目標 ① 市民が芸術文化活動を積極的に行っている

個別目標 ② 郷土の歴史・文化が正しく理解され、郷土に対する誇りや愛着をもっている

個別目標 ③ 多文化共生社会が進展し、世界平和の重要性が認識されている

市民協働のモデル

【市民協働事業】

◇ 文化協会事業
◇ 国際交流推進事業

【市民協働の推進に向けて】

◇ 文化財への理解の促進

Ⅱ ひと
柱 5

地域が支える子育て支援の推進（子育て）

10年後のすがた

子どもの最善の利益が尊重され、子育て支援に関わる団体や支援者など、様々な担い手によって活発な活動が行われており、子育てを地域全体で支援し、地域で安心して子育てができる環境が整備されている。また、様々な情報媒体により、子育てに関する情報が手軽に入手できる環境が整備されている。

その結果、保護者が、仕事と生活が調和した暮らしを実現し、子育てを経験することを通じて、親としての成長を実感し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるようになっている。

行政の使命

子育て家庭が孤立することなく、子育て中の親子が身近な場所で気軽に交流することで、子育ての不安や悩みを解消でき、地域の中で家庭の力を高められるようにするため、相談体制の強化、計画的な子育て支援施設の整備を図る。また、子どもの年齢や親の就労状況などに応じた、教育・保育や子育て支援の選択肢を増やすとともに、民間や各種団体に積極的に働きかけ、協働体制を強化することにより、多様なニーズに対応し、より充実した子育て環境の推進を図る。

成果目標

全体目標 地域を含めた子育て支援により、楽しく、安心して子育てしている				
指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
保育サービスが充実しており、安心して子育てしていると感じる市民の割合	%	23.2 (H28)	30.0	40.0
学童保育や子育て相談・育児教室などの子育て支援を受け、楽しく子育てしていると感じる市民の割合	%	22.1 (H28)	25.0	30.0

個別目標 ① 働きながら子育てする家庭が、安心して育児ができている
 個別目標 ② 子育て不安が解消でき、楽しく育児ができている
 個別目標 ③ 支援が必要な子育て家庭が自立して子育てできている
 個別目標 ④ 異年齢児との交流や親子での遊びを通じ、子どもが健全に育っている

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ ファミリー・サポート・センター事業
- ◇ 児童委員事業

【市民協働の推進に向けて】

- ◇ 子ども会活動支援の推進



園外活動

Ⅲ しごとづくり分野

Ⅲしごと 柱 1

地域の雇用を支える産業の育成支援（商工観光・雇用就労）

10年後のすがた

市内商工業の発展、並びに企業誘致による新規企業の立地が進むことにより、地域経済が活性化している。それにより安定した雇用が確保され、若者や女性、高齢者など、すべての働く意欲のある人が生きがいをもって働いている。また、観光資源のブランド力が高まり、市内外に本市の魅力が伝わることで交流人口が増えている。その結果、経済的に自立した、活力とにぎわいのあるまちとなっている。

行政の使命

地域全体が活力あるまちになるよう、商店街の活性化、市内企業の定着、創業・起業に対する支援などを積極的に推進する。また、交通アクセスの良さなどの利点を活かし、既存の工業地への企業誘致を推進するとともに、新たな工業用地の確保を図る。

公共職業安定所（ハローワーク）と連携し、求人・求職活動環境の向上を図る。また、既存の観光資源のブラッシュアップと新たな観光資源の発掘を推進し、イベントとの連携により市内を巡る魅力を向上させた観光プランを構築し、さらなる観光客の誘致を図る。

成果目標

全体目標 多くの観光客が訪れ、地域経済が活性化し、地域に雇用の場が確保され、にぎわいと活力あふれる、住みよいまちとなっている

指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
市内に魅力ある商業施設があり、市外へ出ることなく買い物できると感じる市民の割合	%	59.5 (H29)	63.0	65.0
地場産業を中心に産業が活性化し、地元での雇用の場が確保されていると感じる市民の割合	%	3.5 (H28)	7.0	7.0
江南市の魅力を広く発信し、多くの観光客でにぎわっていると感じる市民の割合	%	7.8 (H28)	10.0	16.0

個別目標① 商工業の振興により、活気のある地域社会となっている

個別目標② 地域に雇用の場が確保され、生き生きと働いている

個別目標③ 市民は地域の観光資源に親しみ、多くの観光客が訪れて、地域が活性化している

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 就業相談等運営事業
- ◇ 観光推進事業

【市民協働の推進に向けて】

- ◇ 中小企業振興における関係支援団体などとの連携

Ⅲしごと
柱 2

農業の安定経営と農業施設管理（農業振興）

10年後のすがた

若い世代の継続的な就農により、認定農業者が確保され、中間管理機構の活発な活用により、農地の集約化が進み、効率的な耕作が行われることで、耕作放棄地の増加が抑制されている。

また、農業用施設の老朽化対策が行われるなどの適正な維持管理が行われ、安定的な農業経営が行われている。

その結果、地域の特色ある農産物が育てられるとともに、地産地消が図られるなど、効率的で安定的な地域農業が営まれている。

行政の使命

地域全体の農業に活力が出るよう、新規就農者の定着や中間管理機構を通じた支援などを積極的に推進するとともに、耕作放棄地の増加の抑制を図るなど適切な農地の保全を推進する。

関係機関と連携を図り、地域の農産物のPRや販売促進を推進するため、イベントや朝市などの開催の支援を実施する。

農業経営を維持していく上で、必要不可欠な農業用施設の老朽化対策を積極的に支援する。

成果目標

全 体 目 標 効率的で安定的な農業が営まれ、地域の特色ある農産物が育てられている				
指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
効率的で安定的な農業が営まれ、地域の特色ある農産物が育てられていると感じる市民の割合	%	17.5 (H28)	18.0	18.0

個別目標① 農業従事者の経営が安定し、農地や農業用施設が適正に保全され、農地が有効活用されている

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 市民農産物秋の収穫祭開催事業



市民農産物秋の収穫祭
(農業総合品評会会場)

IV ちいきづくり分野

IVちいき

柱 1

地域に住み続けられる支援の推進（高齢者福祉）

10年後のすがた

高齢者自らが健康を維持することに心がけ、多世代の人とふれあい、積極的に仕事やボランティア活動を行っている。一方、介護が必要な高齢者は、地域の施設や自宅で、適切な医療・介護サービスを受けるとともに、地域での支え合い活動を通して、地域住民との交流をもっている。

その結果、高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって生活し、介護が必要になっても、安心した生活ができている。

行政の使命

介護予防の取り組みを事業所やNPO団体、高齢者ボランティアなどと協働しながら推進する。また、高齢者が生き生きとした生活を送ることができるように、高齢者の仕事や活動の場所の確保、地域のつながり・支え合い活動などの支援をする。

介護が必要な方には、個々に適切な福祉サービス・介護サービスを提供する。

成果目標

全体目標 高齢者が生きがいをもって安心して暮らしている

指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
高齢者が、生きがいをもち、自立して暮らしていると感じる市民の割合	%	19.2 (H28)	20.0	20.0

個別目標① 高齢者が介護予防に取り組み、介護が必要になっても地域で安心して暮らしている

個別目標② 高齢者が在宅で安心して暮らしている

個別目標③ 高齢者が生きがいをもって充実した生活を送っている

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 日常生活支援事業
- ◇ 高齢者生きがい促進事業

【市民協働の推進に向けて】

- ◇ 地域の支え合いの推進

IVちいき

柱 2

障害者が生き生きと暮らせる支援の推進（障害者福祉）

10年後のすがた

障害者が能力に応じた就労などを行い、個々のニーズに基づいた必要な支援サービスを受けて、住み慣れた地域で生活している。

その結果、障害者の自立と社会参加が進み、地域で生きがいをもって安心して暮らしている。

行政の使命

障害者が能力に応じた就労などを行い、個々のニーズに基づいた必要な支援サービスを受けることができるよう、多様なニーズに対応する相談支援や障害福祉サービスの充実を図り、障害者の自立と社会参加を支援する。

成果目標

全体目標 障害者が自立し、住み慣れた地域で生きがいをもって暮らしている

指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
障害のある人が地域で生き生きと生活していると感じる市民の割合	%	21.3 (H28)	40.0	50.0
障害のある人にとって相談支援体制が整っていると感じる市民の割合	%	18.4 (H28)	40.0	50.0

- 個別目標① 地域での福祉活動が行われ、障害者などが住み慣れた家庭や地域で安心・安全に生活している
 個別目標② 障害者が日常生活の支援を受け、能力にあった就労・社会参加をし、生活しやすい社会環境が整備されている
 個別目標③ 障害児が療育支援や発達支援を受け、社会的に自立することができている

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 基幹相談事業、自立支援給付事業

【市民協働の推進に向けて】

- ◇ 地域福祉の推進

IVちいき

柱3

地域で支え合う生活支援のための体制の確保（生活支援・福祉活動）

10年後のすがた

生活保護受給者や生活困窮者などに対する自立への支援が行われている。また、福祉関係のボランティア団体、NPO、コミュニティビジネスを行う企業及び行政の間でネットワーク化が進み、機能的に協働するシステムが整備され、子どもの貧困対策、子育てや介護などに対する支援が地域全体で効果的に実施されている。

その結果、生活困窮者、子どもたち、子育て中の市民や高齢者などの誰もが地域で安心して暮らしている。

行政の使命

生活保護受給者や生活困窮者などの自立を支援する。また、既存の制度・機関のみでは対応が困難な課題を地域全体で解決できる仕組みを作る。福祉活動を支援し、活動の担い手となる人材を育成する。

成果目標

全体目標 行政と社会福祉団体や民生委員が有機的に連携し、生活困窮者などの支援を行っている				
指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
必要なときに地域で支え合う体制が整っていると感じる市民の割合	%	27.5 (H29)	30.0	35.0

個別目標① 被災者や生活困窮者などが支援を受け、自立している
 個別目標② 生活保護世帯の生徒が学習支援を受け、確実に高校に進学している
 個別目標③ 社会福祉関係団体などが地域の福祉活動を積極的に行っている
 個別目標④ 生活困窮者や高齢者などは、民生委員などの支援を受け、問題を解決し、安定した生活をしている

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 生活保護事業、生活困窮者自立相談支援事業
- ◇ 社会福祉関係団体育成事業
- ◇ 民生委員事業

誰もが活躍できる健康な生活の確保（健康づくり）

10年後のすがた

日ごろから正しい食生活や運動などを心がけるとともに、生涯を通じて市民が自発的に健康づくりを行っている。健康診査を定期的を受診し、疾病の予防・早期発見に取り組むという意識が定着し、各地域で健康づくりの取り組みなどが行われている。

その結果、寝たきりや生活習慣病になる人が少なくなり、市民は長く健康を保持し安心して暮らしている。

行政の使命

地域の健康意識を向上させるための啓発やボランティアの育成、活動支援を行う。また、健康づくりが身近な場所できるように地域・学校・職場が一体となった健康づくりのための環境を整える。

感染症を予防するために、予防接種の接種率の向上を図る。

妊婦・乳幼児の健康保持のために、妊婦・乳幼児健診の充実を図る。また、他課と連携して子育て不安の解消、虐待予防などを行う。

成果目標

全体目標 自ら健康づくりに取り組み、健康に暮らしている

指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	69.1 (H29)	80.0	81.0

個別目標① 自らが疾病予防に取り組んでいる

個別目標② 必要な予防接種を受け、感染症にかかることなく健康を維持している

個別目標③ 母子が健康保持に積極的に取り組み、母子ともに健康に暮らしている

個別目標④ 市民が安心して医療を受けている

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 健康推進事業
- ◇ 予防接種事業
- ◇ 母子保健事業
- ◇ 地域医療推進支援事業

【市民協働の推進に向けて】

- ◇ 市民主体の健康づくりの推進
- ◇ 地域における母子保健の推進

保険年金制度の健全な運営（保険年金）

10年後のすがた

市民自らの健康意識が定着し、保険年金制度が健全に運営されている。

その結果、もしもの場合に最低限の生活が保障されることにより、生活の不安が軽減され、安心して暮らしている。

行政の使命

健康への自覚を促すため、医療保険の加入者に対し、健康診査、保健指導を推進し、国民健康保険制度の健全な運営を図る。また、国民年金事務を円滑に進める。

成果目標

全体目標 保険年金制度が健全に運営され、もしもの場合の生活の不安が軽減され、安心して暮らしている

指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
保険年金制度により安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	58.8 (H28)	65.0	70.0

個別目標① 被保険者の健康意識が向上し、医療保険制度の健全運営により市民が安心して暮らしている

個別目標② 国民年金制度への理解が深まり、届出や保険料の納付が適正に行われている

IVちいき
柱 6

安心・安全な地域づくりの推進（防災・交通安全・地域防犯）

10年後のすがた

「自分たちの地域は自分たちで守る」という自助・共助の意識が定着し、地域全体で支え合いの仕組みが構築され、市民が協力して災害への備えや交通安全対策、防犯活動を行っている。

その結果、災害に対する不安も軽減され、事故や犯罪が少なくなり、市民が安心・安全に暮らしている。

行政の使命

地域の防災・防犯力を向上させるための意識啓発、組織や人材の育成、活動支援を行う。また、交通事故を減らすため、計画的な交通安全施設の整備を行う。

成果目標

全 体 目 標 災害や犯罪への不安が少なく、市民が安心・安全に暮らしている				
指 標 名	単 位	基 準 値	目 標 値 : H35	目 標 値 : H39
災害や犯罪への不安が少ないと感じる市民の割合	%	50.0 (H29)	65.0	70.0

個別目標 ① 災害への備えが行われている
個別目標 ② 交通安全施策と防犯施策の推進により、安心・安全な地域づくりができています

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 自主防災組織運営事業
- ◇ 交通安全対策事業
- ◇ 防犯対策事業

IVちいき
柱 7

市民の安心を守る消防・救急体制の充実（消防・救急）

10年後のすがた

市民は、応急手当講習・防災訓練に積極的に参加し、火災や地震などの災害発生時の備えが十分に行われている。行政は、広域的協力体制による充実した消防・救急体制が整い、迅速かつ的確な対応ができています。

その結果、救命率が向上し、また、火災や地震などの災害に対する不安が軽減され、市民が安心して暮らしている。

行政の使命

救急・救助や火災などの災害に対し、被害を最小限にとどめるため、迅速かつ的確に対応し、消防・救急体制の充実強化や市民の防火意識向上を図る啓発を行うことにより、市民の大切な生命・財産を守る。

成果目標

全 体 目 標 消防・救急体制が整い、市民が安心・安全に暮らしている				
指 標 名	単 位	基 準 値	目 標 値 : H35	目 標 値 : H39
火事や事故などの災害発生時には、迅速に消火・救急・救助活動が行われ、安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	43.8 (H28)	48.0	53.0

個別目標 ① 消防・救急体制が充実している
個別目標 ② 防火対象物や危険物施設などの安全対策指導が徹底されている
個別目標 ③ 救急・救助や消火活動において、迅速・的確に対応している

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 火災予防普及啓発事業

V 行政分野

V 行政 柱 1

地域協働の推進（市民協働）

10年後のすがた

市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、行政などが、強固な信頼関係の下、市の将来像や目標を共有するとともに、それぞれの得意な分野で力を発揮し、連携・分担・協働により課題解決を図りながら、その実現に向けて協力し合っている。

その結果、地域課題や市民ニーズに対して、地域の様々な主体によってきめ細かく対応がされ、地域全体で地域の価値が高められている。

行政の使命

協働型社会への転換を図るため、市民が地域づくりの主役となる仕組みを構築する。またそのために、ボランティア団体などのネットワーク化を図るとともに、市民活動の拠点や情報交換の場所を整備する。

自覚と責任をもった住民自治を確立するため、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を支援する。

審議会など、住民説明会やパブリックコメントなど市民が自らの意思を表明する機会を充実させる。

従来からある広報紙やホームページに、ソーシャルメディアを加えた、様々な情報媒体のそれぞれの特徴を活かして、市民ニーズの把握や情報提供を行う。

成果目標

全体目標 地域全体で将来の目標を共有し、協働で取り組むことにより、地域の価値が向上している

指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
まちづくりの活動に参加している人の割合	%	33.2 (H29)	37.0	39.0

個別目標① 市民と行政とが情報を共有し、市の魅力を市内外に広く発信している

個別目標② 市民が地域社会の担い手になっている

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 市民活動推進事業
- ◇ 地域団体支援事業

【市民協働の推進に向けて】

- ◇ 地域コミュニティの維持・活性化
- ◇ NPO・ボランティア団体、自治会などの支援
- ◇ 市民による市の魅力再発見



タウンミーティング

総合的な政策の推進と職員の人材育成（政策・人事）

10年後のすがた

行政の各組織が明確な目標をもち、市の将来を見据えた実効性のある総合的な政策を推進し、市の政策課題に対応している。また、行政の施策を実施する一人ひとりの職員が高い意識をもち、市民ニーズに的確に対応している。

その結果、限られた経営資源の中で最大の成果が実現され、市民の満足度が向上している。

行政の使命

中長期的な視点に立った政策を立案し、市の政策課題に迅速に対応することで、市民満足度を向上させる。経営能力とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成するとともに、職員一人ひとりが職務に専念できる風通しの良い職場環境づくりを行うことで、市民サービスの質を向上させる。

成果目標

全体目標 実効性のある政策を立案し、限られた経営資源を選択・集中することで、市民の満足度が向上している

指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
基本計画に掲げられた全体目標の平均達成率	%	-	100.0	100.0
市民意向（満足度）調査での市民満足度の平均値	点	0.00 (H28)	0.10	0.30

個別目標① 限られた経営資源で政策を実現し、市民ニーズに応えている

個別目標② 職員自ら資質の向上を図り、政策形成とマネジメント能力をもった職員が育っている

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 政策決定支援事業
- ◇ 人材育成事業



市政よもやま塾

V 行政
柱 3

市民相談・窓口サービスの充実（市民生活）

10年後のすがた

行政による市民相談や窓口サービスが適切に提供され、市民は必要に応じて専門家による相談を気軽に受けられている。

その結果、市民は、円滑な窓口サービス、適切な相談を受けることができ、安心して暮らしている。

行政の使命

様々な市民相談に対して適切に対応するとともに、弁護士や消費生活相談員などの専門家による、問題解決に向けた相談体制を充実させ、市民の日常生活の安心を確保する。また、市民相談をはじめとした窓口サービスを迅速かつ的確に提供する。

成果目標

全 体 目 標 市民が日常生活に困ることなく便利に暮らしている				
指標名	単 位	基 準 値	目 標 値 : H35	目 標 値 : H39
迅速かつ適切に行政サービスを受けていると感じる市民の割合	%	22.1 (H28)	29.0	36.0

個別目標 ① 戸籍などが正確に記録・管理され、市民は窓口サービスを迅速に受けている
 個別目標 ② 専門家による相談を受け、市民が安心して暮らしている

市民協働のモデル

【市民協働事業】
◇ 消費生活事業

V 行政
柱 4

男女共同参画社会の形成（男女共同参画）

10年後のすがた

男女共同参画が広く浸透するように、様々なメディアを活用した啓発活動や講座・イベントが開催され、市民に男女共同参画の理念が浸透している。

その結果、男女が互いを尊重し合う気持ちが育まれる環境が整った社会が形成されている。

行政の使命

「江南市男女共同参画都市宣言」の理念の下、市民、地域、事業者、行政との協働により、男女共同参画社会の形成の促進のため、講座や啓発活動などを継続的に実施する。

成果目標

全 体 目 標 男女が意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる男女共同参画社会が形成されている				
指標名	単 位	基 準 値	目 標 値 : H35	目 標 値 : H39
男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野（家庭、地域、職場）で活躍できていると感じる市民の割合	%	31.4 (H29)	35.0	40.0

個別目標 ① 男女共同参画の理念が広く浸透し、男女が社会参画において対等なパートナーとして、ともにその責任を分かち合っている

市民協働のモデル

【市民協働事業】
◇ 男女共同参画推進事業

V 行政
柱 5

計画的な行政経営の推進（行政経営）

10年後のすがた

継続的に行政改革を実施するとともに、限られた経営資源を活用した行政運営を行っている。
その結果、持続可能な財政基盤が確保された中、最少の経費で最大の成果が実現され、市民が行政を信頼している。

行政の使命

次世代へとつなげる将来を見据え、限られた経営資源を有効に活用し、効率的かつ透明性の高い財政運営を行う。

行財政運営における課題を的確に捉え、実行性のある行政改革に取り組むことで経費削減や市民サービスの質の向上を図る。

成果目標

全体目標 限られた資源の選択と集中により、市民満足度の高い行財政運営が行われている				
指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
効率的な行財政運営を行っていると感じている市民の割合	%	13.6 (H29)	19.0	23.0
個別目標 ① 行政改革により、行政の簡素化・効率化が図られている				
個別目標 ② 計画的で健全な財政運営が行われている				
個別目標 ③ 公共施設の最適な利用及び配置が図られている				

市民協働のモデル

【市民協働事業】

- ◇ 行政改革推進事業
- ◇ 予算編成事業、決算関係事業

V 行政
柱 6

公平かつ適正な課税・収納（課税・収納）

10年後のすがた

税の目的や仕組みがわかりやすく説明され、公平かつ適正な課税・収納が行われている。また、納税者に対して様々な納税手段・機会が用意されている。

その結果、市民の納税意識が高まり、税負担に対して公平かつ適正であると感じ、ニーズに合った納税方法が選べる環境の中、納税の義務を果たしている。

行政の使命

高度な専門知識や実務に精通した職員を育成し、公平かつ適正な課税・収納事務を行う。

また、納税手段・機会の拡大や納税相談を充実させるとともに、財産調査の効率化を図り、滞納に対する収納を強化することで、収納率の向上を図る。

成果目標

全体目標 市民は納税意識が高く、税負担が公平かつ適正であると感じている				
指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
税が公平かつ適正に課税・収納されていると感じている市民の割合	%	10.0 (H28)	20.0	30.0
個別目標 ① 市民は、公平かつ適正に課税されていると感じている				
個別目標 ② 公平かつ適正な税負担を感じ、自主的に納税を行っている				

V 行政
柱 7

適正かつ効率的な事務による開かれた行政（行政事務管理）

10年後のすがた

個人情報保護の下、情報公開制度が適正に行われ、行政の透明性が確保されている。
その結果、市民は行政を信頼し、市政に対する市民の関心もいっそう高まっている。
また、ICTなどを利活用し、正確な事務が円滑に執行されている。

行政の使命

行政の透明性の確保と説明責任の遂行のため、情報公開を適正に行うとともに、情報セキュリティ対策と個人情報保護の徹底を図る。また、市政への関心を高めるため選挙啓発を行う。
金融情勢の変化を的確に把握し、公金の安全かつ有利な運用を図るとともに、適正な出納審査を行う。
監査を継続的に実施することにより、行政運営が適正に執行されていることを担保する。

成果目標

全 体 目 標 適正な事務管理及び資産の管理・運用により、市民は行政を信頼している				
指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
行政の事務が、適正かつ効率的に行われていると感じる市民の割合	%	25.7 (H29)	30.0	35.0
個別目標 ① 確実な個人情報保護と、情報公開が適正に実施され、業務が遅延することなく透明性の高い行政が行われている				
個別目標 ② 資産が適正に管理・運用され、有効に活用されている				
個別目標 ③ 各種行政委員会の事務が適正に行われ、市民の信頼が得られている				

V 行政
柱 8

より開かれた適切な議会運営への支援（議会運営への支援）

10年後のすがた

議会事務局は、的確な議会運営への支援を行い、議会は議事機関としての機能を適切に果たし、市民にわかりやすい開かれた活力ある議会運営を行っている。
その結果、市民は、議会の審議などにより、市の施策、事業の経過や進捗状況を把握でき、市政に関心をもっている。

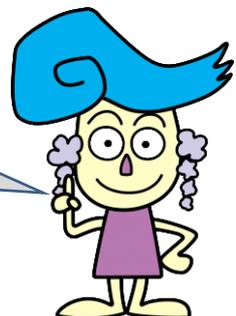
行政の使命

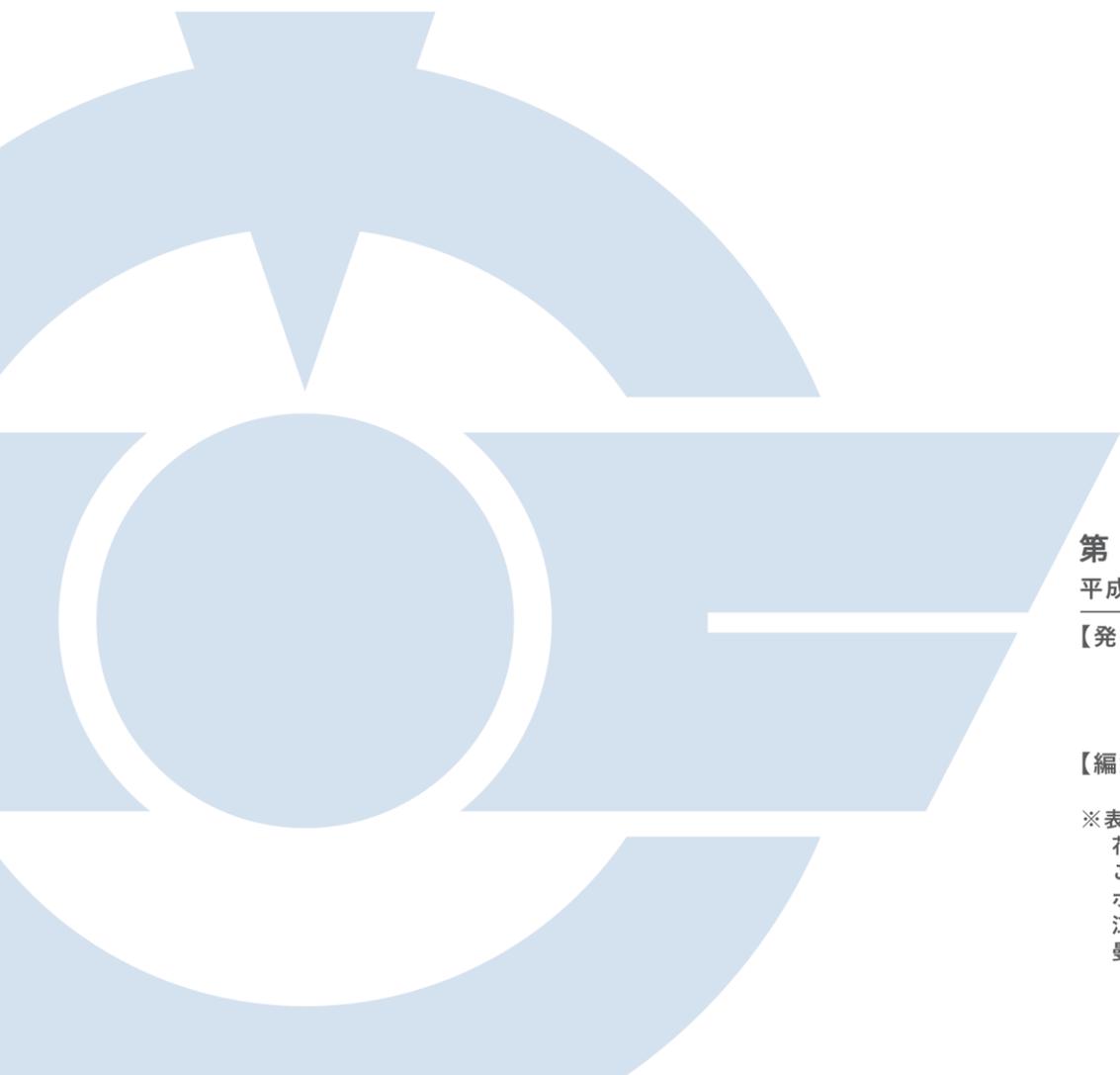
議事機関としての議会の機能が適切に果たされるよう、議会や議員活動を支援する。
研修や近隣自治体との情報交換を密にし、議会事務局職員の専門性を高め、議会からの要請などに、よりの確に対応できる支援体制の充実を図る。
積極的に市民へ議会情報などを提供することなどにより、市民にわかりやすい開かれた議会運営への支援をする。

成果目標

全 体 目 標 より開かれた議会の実現とわかりやすく親しまれる議会運営が行われている				
指標名	単位	基準値	目標値：H35	目標値：H39
議会のようなすが、広報やホームページなどにより、広く情報発信されていると感じる市民の割合	%	49.0 (H29)	57.0	65.0

第6次江南市総合計画の詳細は、
市ホームページでご覧いただけます。





第6次江南市総合計画 概要版
平成30年3月

【発行】愛知県江南市
〒483-8701
江南市赤童子町大堀90番地
電話(0587)54-1111(代)

【編集】市長政策室 秘書政策課

※表紙写真説明(上から)
花いっぱい運動(江南駅前花壇植栽)、
こうなん木曾川親子ふれあい自転車散歩、
ホテルの幼虫の放流、布袋ぶらりん日和、
江南藤まつり、江南市民サマーフェスタ、
曼陀羅寺公園の藤